

提供日 2015/07/15
 タイトル デング熱媒介蚊の定点モニタリングの結果について
 (平成27年第1報)
 担当 健康福祉部 医療健康局疾病対策課
 連絡先 感染症対策班
 TEL 054-221-2986



1 要旨

平成26年のデング熱の大流行を受け、本県では新たに蚊の継続的な生息状況調査及びウイルス保有調査を実施しています。

この度、第1回目(愛鷹広域公園分)の調査について、結果が判明しましたので、お知らせします。

デングウイルスの検査結果は、全て「陰性」でした。

2 調査結果

調査地点		捕獲された蚊の数 (うちヒトスジシマカ のメスの数) (匹)	デングウイルス 検査結果
愛鷹広域公園 (沼津市足高)	A区画	5 (2)	陰性
	B区画	2 (0)	-
	C区画	0	-

- デング熱の原因となるデングウイルスを媒介するのはヒトスジシマカのメスのみです。
- デングウイルスの検査はヒトスジシマカのメスのみ実施しています。
- 公園全体を3区画に分け、各区画内の3地点で8分間ずつ、網で捕獲しています。
- 「捕獲された蚊の数」及び「ヒトスジシマカのメスの数」は、各区画で捕獲された数の合計です。
- 検査は環境衛生科学研究所で実施しています。

通常は、月ごとに、4地点全ての調査結果が判明次第、公表します。
 (7月分の残る3地点については、調査結果が判明次第、公表します。)

【参考】デング熱媒介蚊の定点モニタリングについて

(1) 実施地点

地域	モニタリング実施地点 (地域ごとに県民が長時間滞在する機会のある公園を選定)
伊豆	まどが浜海遊公園(下田市)
東部	愛鷹広域公園(沼津市)
中部	吉田公園(榛原郡吉田町)
西部	小笠山総合運動公園(袋井市)

(2) 調査方法

- 7月~10月の間、各地点で月1回、蚊を捕獲
- 環境衛生科学研究所でデングウイルスの検査を実施